

平成 28 年 3 月 31 日

平成27年度総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類 ※該当する()に ○を付ける	・海外共同 () ・共同研究 (○) ・個人研究 ()	
研究代表者 (所属・職・氏名)	田中淑江 家政学部 准教授	
研究課題名	近世小袖服飾に見る伝統的素材・技法に関する研究	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
長崎巖 長谷川沙織	家政学部被服学科教授 家政学部被服学科助手	調査・研究の実行・報告書の執筆 調査資料の整理・入力など。
研究期間	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日	
海外共同研究を実施することになった経緯 (海外共同のみ)		
研究発表(印刷中も含む)雑誌および図書		
【研究発表】		
(1)長崎巖、東北福祉大学講演「デザイナー芹沢桂介と型絵染」平成 27 年 5 月 9 日、於東北福祉大学		
(2)長崎巖、共立アカデミー公開講座「日本の絞り—その歴史と美—」平成 27 年 7 月 15 日、於共立女子大学		
(3)長崎巖、町田市立博物館講演「沖縄の染織」平成 27 年 10 月 4 日、於町田市立博物館		
(4)長崎巖、須坂クラシック美術館講演「小袖 —江戸女性のファッション」平成 27 年 10 月 10 日、於須坂クラシック美術館		
(5)長崎巖、共立アカデミー公開講座「日本の型染めの歴史」平成 27 年 11 月 18 日、於共立女子大学		
(6)長崎巖、京都染織文化協会講演「江戸時代女性のファッション事情—移りゆく流行—」平成 28 年 3 月 7 日、於京都産業会館		
【著作物】		
(1)長崎巖、単著「LES COSTUMES DE NO」、Musée Guimet 『DU NO A MATA HARI』平成 27 年 4 月、PP.115～120		
(2)長崎巖、共著「日本の緋と銘仙」、須坂クラシック美術館『きものモダニズム—須坂クラシック美術館 銘仙コレクション』平成 27 年 9 月、PP.8～11		
(3)長崎巖、単著「from kosode to kimono」、Thames&Hudson 『KIMONO』、平成 27 年、PP.8～11		

研究実績の概要（1）

- (1)平成 27 年 5 月 2 日から 5 月 3 日にかけて、神戸ファッション美術館・京都府京都文化博物館・千總ギャラリー・中村ちんぎれ店において、近世小袖服飾の調査を行った。
- (2)平成 27 年 8 月 5 日から 8 月 6 日にかけて、八幡古表神社所蔵の奉納衣服類の調査を行った。
- (3)平成 27 年 9 月 10 日から 9 月 12 日にかけて、須坂クラシック美術館所蔵の日本染織品の調査を行った。
- (4)平成 27 年 10 月 1 日から 10 月 2 日にかけて、須坂クラシック美術館所蔵の日本染織品の調査を行った。
- (5)平成 27 年 12 月 4 日から 12 月 7 日にかけて、MIHO MUSEUM・京都国立博物館・京都文化博物館・中村ちんぎれ店において近世小袖服飾の調査を行った。
- (6)平成 27 年 12 月 14 日から 12 月 16 日にかけて、松坂屋資料館所蔵の日本染織品の調査を行った。
- (7)平成 28 年 1 月 19 日から 1 月 20 日にかけて、大宜味村立芭蕉布会館・芭蕉布織物工房・那覇市歴史博物館・沖縄県立博物館及び美術館・浦添市美術館において、沖縄の染織品の調査を行った。
- (8)平成 28 年 2 月 22 日から 24 日にかけて、熊本城・天草市立天草キリシタン館・長崎歴史文化博物館・シーボルト記念館において舶載染織品の調査を行った。
- (9)平成 28 年 2 月 23 日に、勝山織物株式会社 絹織製作研究所において、染織品修復における使用素材技法の調査を行った。

研究実績の概要（2）